

環境マネジメント

日本地域における環境経営推進体制

日本地域環境会議

日本における環境マネジメントの基盤が「日本地域環境会議」です。国内での環境保全活動の実行レベルを高め、先進性を維持することを目的に1991年12月に設置した「日本環境会議」を前身としており、2015年度に名称を変更し、「日本地域環境会議」としました。

Hondaでは、自社の事業所における事業活動での環境負荷低減に取り組むだけでなく、グループ会社やお取引先の事業活動、ならびに輸送段階での環境負荷低減、および製品、部品リサイクルなどの推進に取り組んでいます。

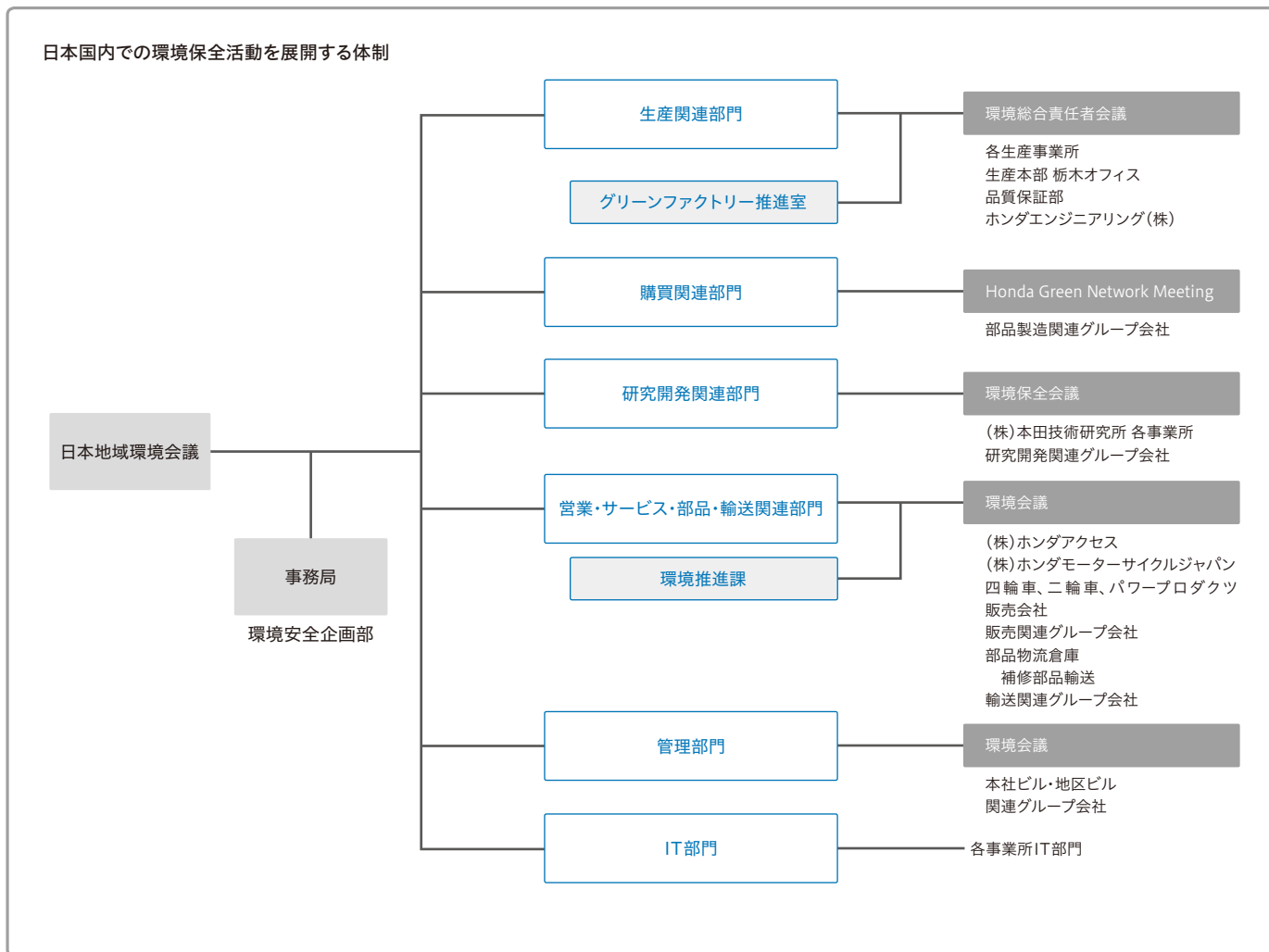
そのため、生産関連部門や購買関連部門など事業活動を行う部門それぞれに会議や連絡会を設置しています。

「日本地域環境会議」には、この各部門および(株)本田技術研究所の役員や責任者が参加し、運営しています。

「日本地域環境会議」の役割は、環境に関する社会動向などの状況分析に基づき、中期環境方針、目標を提案し、各部門が定めた目標に対する進捗を確認することです。全部門に関わる横断的課題に対して対応施策の提案を行い、日本における環境取り組みの継続的な実施と改善を図っています。

各部門では「日本地域環境会議」で決定された中期環境取り組み計画に基づいて部門ごとの目標を設定。その目標に沿って関連する事業所、グループ会社を含めて環境負荷低減および環境関連の事業や施策について、PDCAサイクルを回しています。

日本国内での環境保全活動を展開する体制



2017年6月現在